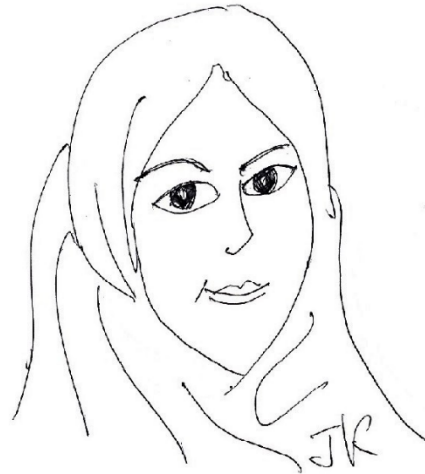


夢を叶えたい 少女の物語

カーンサバ
KHAN SABA



夢を叶えたい少女がいます。その女の子は私。私の名前はカーンサバです。私はパキスタンで生まれました。父が働いている日本に来ました。二年前16歳の時に母と女末と一糸帯に日本に来ました。パキスタンでは10年生の試験を受けたので、試験を受けた後日本に来ました。二年前の私はまったく知らない異国にやってきた、生活を始めました。周りは、私にとってすべて目新しいもので、これまで経馬もしたことのないものばかりでした。私が最初に日本に来たとき、日本語が一言も分からなかった。それから私は日本語を勉強するために日本語アカデミーに行きました。日本語学校で一生懸命勉強した。たくさんの親切な先生が私を応援した。いろいろな国の友達を作った。日本語学校で楽しみと時間を過ごしました。

日本語学校の半年を終えた後、私は県庁に行った。その時県庁でNPO法人の番号を見つけました。経済的な問題もありますが、父は一生懸命働いたことをあきらめませんでした。私の父は会社員であり、私の目標を達成するために私をたくさん応援してくれました。そしてNPO法人の名前は本堂はるおさんです。本堂はるお先生に初めて会ったその日は私の人生で最高の日です。彼は私の人生で見たことのない人で、とても協力で親切です。その時の私の目標は高校で進学したいです。私の将来の夢は私はソフトウェアエンジニアになりたいです。データ分析やサイバー犯罪セキュリティ分析の仕事がしたいです。

当時は一生懸命頑張っていました。当時は自転車がないのでどこでも歩いて行くのでとても大変で、断食をするラマダンがある。ラマダンはイスラムの月です。夏は断食の月がとても大変でした。一生懸命頑張りました。そしてあきらめなかった。その後NPO法人はボランティアの先生二人を見つけました。一人は英文学の浅野先生ともう一人は国語のしねたん先生です。私はこの先生と約5か月6か月勉強した。その時コロナウイルスが来た。勉強した場所は閉鎖されました。それから私は高校に入学するために家で昼も夜も一生懸命勉強した。

父は私のために心酉己していますが、その日はとても大変で、私はいよいよ病に
なつた。しかし、私は自分を信じていて、諦めませんでした。日本の生之苦は
少し莫難いです。言葉が通じない時の困惑感です。私はあまりに多く
の困難に直面しました。しかし、困難な時が来るたびに、良い時が来る
でしょう。私のネ申兼アッラーがいつか私を助けてくれると信じています。
そしてNPO法人は国言語の新しい先生を見つけました。彼の名前は金兼田清
先生です。彼はとても親切で、たくさん応援してくれました。金兼田清先生と
一糸者に楽しく面白い時間も過ごしました。日本の文化や日本の歴史
についてたくさん教えてくれました。それから青木公文に行つて英文学を
勉強した。それから私はもっと一生懸命勉強した。NPO法人は
英文学が私にとって最も重要な科目であるため、数学を教えて
くれる倉林川一先生と田村ゆう子先生を見つけました。この二人の
先生もたくさん応援してくれました。ついに高木交入学試験をしました。

そして、結果が出て、前期の入学試験に合格しなかったため、私は
とてもガッカリと罪悪感を感じた。実際、私は一日中泣きました。
なぜなら、私のすべての孝女自市と父が私のために努力し、私も多くの
努力をしたからです。私はもっと一生懸命勉強した。後期の試験
で合格しました。それが私の夢が叶う方法です。

今、私は清陵高等学校の学生です。私はすべての孝女自市とNPO
法人本堂はるおさんと特に私の父のおかげで私はここにいます。
高校で卒業して日本の大学に進学したいです。すべての先生とNPO法人
と父にとても感謝しています。ありがとうございます。

お世話になりました、いろいろありがとうございます！

You are a teachers, I will never forget you gave me Wings roots,
And you Believed in me. Thank you for everything
to All my teachers and thank you
to my father who worked hard for me ♥

And thank you So much for always being there for me and still
helping me !!